

当面の日程

4月9日 県会・神戸市議会議員選挙投開票
4月16日 芦屋・宝塚・明石・三木市議選告示日
4月23日 同上4市議選投開票

自治ひろば



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail:jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1627号

2023. 4. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長／尾西亮太郎・編集人／秦 信昭

統一自治体選挙後半戦の組織内予定候補者

選挙闘争に勝利しよう

4月16日告示、23日投開票



宝塚市議会
梶川美佐男



芦屋市議会
山口みさえ



三木市議会
西垣ひろし



明石市議会
よしだ秀夫



現場の実態を訴える交渉団

市町振興課交渉

会計年度

常勤に準じた改定を

「基本」を追求し遡及を前提に調査

県本部は3月3日に知事に対して「23春闘期申し入れ」を行い、3月8日の市町振興課交渉では「今回確認した内容は、改善することを前提に指導、助言を行い、各自自治体での労使交渉を尊重する」ことを確認した。

振替休日の取り扱いでは、市町振興課から「個別に聞き取りを行い、速やかに是正していく」ことを確認。またラスパイレスの問題では、ただ単に賃金を抑制する指導ではなく、原因を明らかにし、ラスが低い自治体には改善に向けた強い指導を求め、適正な助言を行うことを確認した。

さらに人員確保の課題では、中途採用者の初任給決定、昇格運用のルールについて国に準じた助言を求め、人材確保に向け新規採用者の初任給改善を訴えた。市町振興課からは「中途採用者の初任給の取り扱いには各自自治体へ情報提供し、各市町で適切に運用されるべき」と確認。人員の確保についても「とくに技術職の採用が非常に厳しい状況であることは認識している」と回答を引き出した。

連合兵庫は民間春闘のヤマ場での結束力強化を図るため、3月4日に春季生活闘争・政策制度要求実現総決起集会を県内各地域会場とWEB併用で開催した。冒頭、福永明連合兵庫会長は「2023春闘は『くらしをまもり、未来をつくる』をスローガンとして掲

人への投資を掲げ結束強化

くらしをまもり、未来をつくる春闘に

連合兵庫
春闘決起集会

げさせてもらった。経済・社会の原動力となる『人への投資』を起点とし経済の好循環を追求していく。また、急激な物価上昇により働く仲間の生活が苦しくなっており、賃上げの広がりも追求していく。今春闘は直面している生活危機への対応と好循環の実現で中

間所得層の拡大、貧困格差の是正など構造的課題への対応へと舵を切る取り組みにしてい。連合に結集し『人への投資』を勝ち取り実質賃金の継続的上昇へと変えなければならない』とあいさつした。



あいさつする福永会長

「機運を盛りあげ賃上げ実現、デフレ脱却」を訴えた。その後は「春季生活闘争」「政策制度」「国際女性デー」「青年アピール」の4つの決議を採択、連帯あいさつなど受け、集会を終えた。

神戸市従の社会貢献活動

横断旗50本を寄贈

7才の交通安全プロジェクト



小原委員長より寄贈

小学生になり友だちも増え、行動範囲も広がる7歳。無邪気ではほえましいが、大人に比べて目線も低く、他の年齢に比べて突出して交通事故に遭いやすいとい

うデータがある。このため神戸市従では、国民共済コープCOOPの「7才の交通安全プロジェクトキャンペーン」に賛同し、マイカー共済見積り1件につき横断旗1本を寄贈する取り組みを実施。組合員からの見積り依頼で届いた「横断旗50本」を2月3日、神戸市西区役所において西区青少年育成協議会に寄贈した。

神戸市従は今後も地域の方たちと連携し、社会貢献活動に積極的に取り組んでいく。

しこう

ようこそ新入職員皆さん。就職おめでとうございませ。一緒に働く同僚として、そして一緒に職場を良くしていく組合員として歓迎します。今年の桜は入庁式には散り始めたところでも、今年はやと顔の見える入庁式か。期待より不安が多い面持ちで入庁式に臨んだ昔を思い出す。一方、同期との会話になんだことも

いまいち座

一茶一坐一坐団



松本 真紀子

地方から政治を変える

統一自治体選挙闘争勝利! 兵庫県本部総決起集会



組織内予定候補より決意表明がされた

県本部は統一自治体選挙闘争勝利!総決起集会を2月25日、神戸市教育会館で開催し、政策実現に向けた

県本部は統一自治体選挙闘争勝利!総決起集会を2月25日、神戸市教育会館で開催し、政策実現に向けた政治活動の推進について意思統一した。冒頭、山下忠之委員長は「労働組合は労働条件改善だけをとり組めば良いという声もある。しかし、私たちの労働条件を改善するためには、労使で合意した内容を議会で条例改正しなければならぬ。だからこそ私たちの声を代弁してくる議員を議会へ送り出すことが重要である」とあいさつし、政治闘争強化に向けた理解と協力を要請した。集会では昨年7月に当選した自治労組織内議員の鬼木誠参議院議員より「国政の課題と私たちの取り組み・統一自治体選挙に向けて」と題し、講演を受けた。鬼木参議院議員は政治闘争の必要性について「自治労の活動はいずれも政治と関わりがあり、法律や条例は政治によって最終決定される。地方から政治を変える



講演する鬼木参議院議員

軍拡・改憲より平和を 軍備増強による有事の危険性

岸田政権は敵基地攻撃を可能にする「安保関連3文書」改定と軍事費増強、財源確保のための増税方針を決めた。これに対し、総がかり行動実行委員会が「軍拡、改憲よりくらし、平和」の運動を全国で展開するため、ブロック規模での集会が提起され、関西では大



関西各地から多くの参加があった

北龍太郎さんは「政府は戦争をさせない外交努力や、戦争の準備ではなく、平和の準備を望む」とあいさつした。その後、五野井郁夫さん(高千穂大学経営学部教授)が講演を行い「台湾有事の際は、日本が米軍の防火壁となる。そのため日本に大きな被害が出る。岸田政権は、このような状況が待っている事実を国民に説明しなければならぬ」と指摘した。

人員確保闘争のススめ 定時に帰るためには

第1分科会には、18単組29人が参加。戎副委員長が座長を務め、中野由香里執行委員、橋本維文阪神淡路ブロック事務局長とともに分科会を進めた。

最初に座長から、定年引き上げに係る人員確保の課



6月期闘争に向け意思統一

各単組の人員確保の課題や取り組みの報告では、業務に見合う人員が配置されておらず、超勤が常態化している実態や、技術職の募集なども応募が無い課題などが出された。また、人員確保闘争において、多くの単組で職場ごとの不足人数を具体的に要求できていない実態や、職員採用につ

題に触れながら、この分科会で6月の人員確保闘争へ向け、各単組が今春闘で「一歩前に」進むための議論を行っていききたいと提起があった。

各単組の人員確保の課題や取り組みの報告では、業務に見合う人員が配置されておらず、超勤が常態化している実態や、技術職の募集なども応募が無い課題などが出された。また、人員確保闘争において、多くの単組で職場ごとの不足人数を具体的に要求できていない実態や、職員採用につ

県本部2023 春闘討論集会 分科会報告(上)

2月11日に開催した県本部2023春闘討論集会では、春闘課題である①人員確保闘争のススめ(定時に帰るためには)②賃金闘争のススめ(到達目標を確認)③振替休日の運用は大丈夫?(法令順守を確認)の3つの分科会を開催した。今回①と②について分科会の内容について掲載する。

なお、③については次号に掲載予定。

賃金闘争のススめ 到達目標を確認

第2分科会へは、12単組19人が参加。尾西亮太郎書記長が座長を務め、小寺忠則執行委員、書記と

ともに分科会を進めた。まず「賃金とは」をとお題に自己紹介を行い、人事院勧告でのベースアップと運用改善による賃金アップの取り組みについて議論を行った。「人勤率」を基本に取り組みを進めているが、基本となる俸給表も単組ごとで違いがあり、ただ単に人勤率だけでは賃金の改善にはならないことを確認した。

また、県本部が示す年齢別ポイント賃金の基本的な考え方を整理するため、初任給や昇給の運用、到達号給等、モデル俸給表を使い各自で本部、県本部が示すモデルラインを確認した。

また、県本部が示す年齢別ポイント賃金の基本的な考え方を整理するため、初任給や昇給の運用、到達号給等、モデル俸給表を使い各自で本部、県本部が示すモデルラインを確認した。



各自でモデルラインを確認

手続き
忘れて?
ませんか?

自動車替换の方、
「30日以内」に手続きが
必要です!

契約対象となる自動車替换方、新車両の取得日の翌日から30日以内に車両変更の手続きをお願いします。

30日以内に届け出がなく事故を起こされた場合、
共済金をお支払いできません。

※車両変更とは、自動車の新規取得において、被共済自動車の廃車・譲渡・返還が生じた場合です。

不明な点があればまずは所属する組合にご連絡ください。

こくみん共済 NEWS
5120A074

じちろう
マイカー共済

自動車総合補償共済

こくみん共済〈全労済〉 全国労働者共済生活協同組合連合会

自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。